

動作確認チェックシート

検査日	2024年 8月 19,20,21日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	粒度分布測定器	電源電圧	単相 210W 100V-240 V	サイズ単位	μm, μm2, μm3
型式	Multisizer4	電源周波数	50 / 60Hz		
メーカー名	BECKMAN COULTER	粒子分布測定範囲	0.4 μm ~ 2000 μm	制御PC	win 7 pro sp1
機械Ser,No	A39152		アパーチャーチューブサイズによる	アパーチャーチューブ	20, 30, 70, 100 μm
製造年月	2013年 1月	アパーチャーサイズ	20 μm ~ 2000 μm		

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キヤスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○

備考(動作確認内容・不具合内容等)

機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

- ◎ SW類 ○ 電源SW 確認
- STIR, CW, CCW, +, -, BAR CODE SCAN 確認

- ◎ 表示類 ○ (LED) 電源, ANALYZING, ATTENTION, STIR, CW, CCW, +, - 確認
- 制御PC動作 確認

- ◎ 動作 ① 廃液ジャー, 電解液ジャー取付、取外し
- ② アパーチャーチューブ(70 μm穴径) 取付、取外し
- ③ サンプルプラットフォーム移動、解除
- ④ スターラ、粒子トラップ取付、取外し、ステータスライト確認
- ⑤ 純水洗浄→IPA洗浄→純水洗浄→電解液濾過→電解液充填フラッシュ
- ⑥ 測定試料 濾過電解液
- ⑦ SOM設定
- ⑧ 測定
- ⑨ 10 μm試料添加後、再測定



装置全景



測定状況

取扱説明書(有) (アパーチャーサイズの2~80%が測定範囲です)

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者
	パスワード: ms4	

File Maker入力

(備考欄コメント)

[責任者]

動作(OK) 作業工数[8×3H] キャリブレーションが必要ですが、キャリブレーションが期限切れの為省略。

検査担当者[佐藤] 電解液は、ISOTON2を使用。

ユーザー名[]

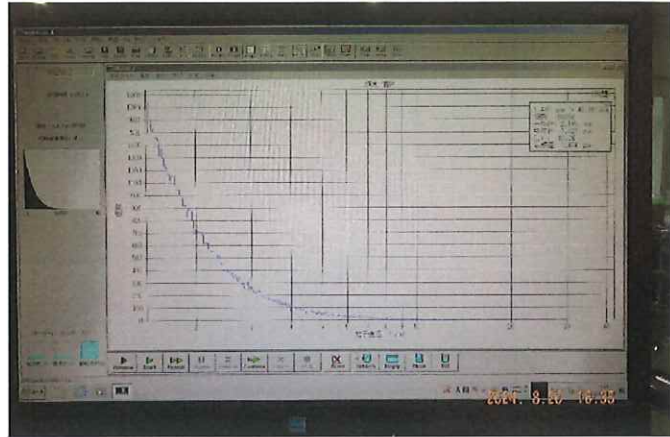
出荷日 年 月 日



◎ 濾過電解液測定 60058個, 3156.7sec, 300BIN分割

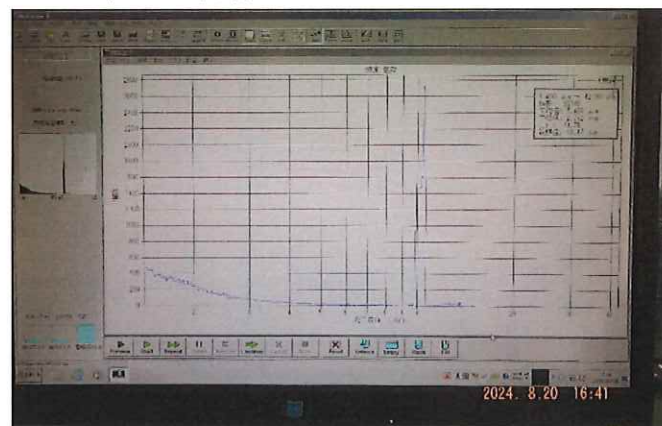
横軸 $1.4\mu\text{m} \sim 47.0\mu\text{m}$

縦軸 個数



◎ $10\mu\text{m}$ 粒子添加後測定 30146個, 293.5sec, 300BIN分割

前回同様



$10\mu\text{m} \sim 11\mu\text{m}$ の間に波形のピークが観測される。

◎ ISOTON2 電解液 成分

塩化ナトリウム NaCl 0.7 %

リン酸2水素ナトリウム NaH_2PO_4 0.2 %

抗凝固剤 適量

水 H_2O

注意 本電解液使用時は、フィルター濾過が必要です。今回は $0.2\mu\text{m}$ フィルター使用。